

【 臨床研究に関する情報の公開 】

血液内科疾患の治療でリハビリテーションを受けた患者様の試料・情報を用いた医学系研究に対するご協力のお願について

項 目	内 容
1. 研究課題名	血液内科疾患患者に対するリハビリテーション実施時の手指衛生遵守率とその傾向について
2. 研究の対象者	令和3年10月1日から令和4年3月31日までの間に、血液内科病棟で化学療法かつリハビリテーション介入を施行されている方を対象とします。
3. 研究期間	令和3年11月1日 ～ 令和4年3月31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 リハビリテーション部 研究責任技師：リハビリテーション部技師 谷名 英章 共同研究機関：なし 資料・情報提供機関：なし
5. 本研究の意義・目的	血液内科病棟は免疫力が低下している患者様が多く入院しています。このため、血液内科病棟へ出入りする医療者の感染対策はより一層徹底して実施する必要があります。特に血液内科疾患患者様のリハビリテーションにおいては長期の入院や化学療法に伴う副作用により身体機能が低下し身体介助が必要な方が少なくありません。加えて環境要因として多数の医学的デバイス使用や、無菌室入室といった無菌操作を伴う手技が求められるなど、特殊な環境であることも特徴です。これらを踏まえると血液内科疾患患者様に対するリハビリテーションにおいて、感染予防の観点からリハビリテーション技師が無菌操作を伴う手技や手指衛生を適切に行えることが必須です。本研究の目的は血液内科疾患患者様に対するリハビリテーション実施時の手指衛生遵守率を調査し、手指衛生のエラーがあった場合にその傾向について明らかにすることです。このため、本研究の結果はリハビリテーション技師による病棟への感染症の持ち込みや、深刻な院内感染アウトブレイクを防ぐための非常に有益な情報となりえると考えます。
6. 研究の方法	本研究は後方視的研究です。院内感染対策委員会の取り組みとして血液内科病棟で実施した感染対策において直接観察法で調査して得た試料から、血液内科病棟専従・専任のリハビリテーション技師の手指衛生遵守率及び、血液内科疾患患者様に対するリハビリテーション診療中のエラーの傾向について調査・検討します。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	年齢、性別、診断名/重症度、治療内容、使用している医学的デバイス、基本動作能力、FIM、手指衛生遵守率、リハビリテーション内容。
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	患者様の診療情報・データ等は、解析する前にID・氏名・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、個人が特定できないようにした上で、当院のパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。 データ廃棄の際は複数名で完全にデータを消去したことを確認します。
9. 個人情報の保護について	この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は外部に漏えいすることのないように、慎重に取り扱います。研究結果は個人が特定できない形式で学会や医学雑誌に公表される予定です。研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出下さい。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 リハビリテーション部 谷名 英章
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 リハビリテーション部 谷名 英章 電話：06-6458-5821 (代表)